

令和7年度各会計予算案の大綱

.....

次に、令和7年度各会計予算案の大綱について、ご説明申し上げます。

令和7年度の予算編成に当たり、市立病院の経営状況について、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた国の支援の縮小や、新型コロナウイルス感染症流行前の患者数に戻らないことなどによる収益の減少に加え、物価高や賃上げに伴う経費増が経営を圧迫し、収支改善に向けた全市的な取り組みが急務となったことから、現在策定を進めている「滝川駅周辺地区再生整備基本計画」に基づく滝川駅周辺地区再生整備事業について、一旦停止するという大きな決断をしました。

そのような中においても、令和7年度は「滝川市総合計画」で目指すまちの将来像の実現に向けた予算として、全国で初となる科学館機能を備えた新しい海洋センターの整備、妊娠期から出生・子育て期まで切れ目のない伴走型支援を行う「こども家庭センター」の設置のほか、先般策定した「滝川市こども計画」に基づく施策を推進するための予算を計上するなど、こどもの成長と子育て支援体制の充実により重点を置いた予算案としたものです。

この結果、

一般会計	245億 4,300万円
特別会計	94億 2,323万円
下水道事業会計支出	22億 9,600万円
病院事業会計支出	87億 9,014万円

となり、各会計の歳出総額は450億5,237万円で、令和6年度当初予算と比較して、8.1%の増、金額では33億6,313万円の増となりました。

次に、会計別の概要を申し上げます。

一般会計におきましては、予算総額を前年度当初予算に対し33億8,100万円増としました。新B&G海洋センター新築工事や道路新設改良事業をはじめとする普通建設事業費を増としたほか、ふるさと納税寄付金額の予算増に伴う関連経費の増などにより、

予算額 245億4,300万円で、前年度比16.0%の増となっています。

性質別にみますと、

人件費については、人事院勧告に伴う給与の増額改定などにより、

予算額 37億3,240万円で、前年度比7.7%の増

物件費は、ふるさと納税経費の増などにより、

予算額 35億281万円で、前年度比25.5%の増

扶助費は、児童手当の増などにより、

予算額 39億1,845万円で、前年度比6.8%の増

建設事業費は、新B & G海洋センター新築工事の実施や道路事業の事業費増などにより、
予算額 19億8,143万円で、前年度比92.7%の増
公債費は、小・中学校空調設備整備事業の償還開始などにより、
予算額 15億4,135万円で、前年度比8.7%の増となっています。

次に、国民健康保険特別会計におきましては、保険給付費などの減により、
予算額 42億7,504万円で、前年度比3.3%の減
公営住宅事業特別会計におきましては、工事費の減により、
予算額 7億3,917万円で、前年度比11.9%の減
介護保険特別会計におきましては、
保険事業勘定は、保険給付費などの減により、
予算額 36億236万円で、前年度比2.5%の減
介護サービス事業勘定は、備品購入費などの増により、
予算額 1,829万円で、前年度比10.4%の増
介護保険特別会計総体では、
予算額 36億2,065万円で、前年度比2.4%の減
後期高齢者医療特別会計におきましては、後期高齢者医療広域連合納付金の減により、
予算額 7億8,837万円で、前年度比0.8%の減
下水道事業会計におきましては、管渠費の委託料の増などにより、
支出額 22億9,600万円で、前年度比2.6%の増
病院事業会計におきましては、給与費及び減価償却費の増などにより、
支出額 87億9,014万円で、前年度比3.1%の増となりました。

次に、普通建設事業費の全体予算について、会計毎にご説明申し上げます。

一般会計では、

新B & G海洋センター新築工事	7億4,714万円	
道路新設改良事業費	6億9,217万円	
松庫公園外改修工事	1億4,200万円	
などを含め、総額で	19億8,143万円	
公営住宅事業特別会計では、	3億5,899万円	
下水道事業会計では、	2億3,067万円	
全体で前年度比46.8%増の	25億7,108万円	を計上しました。

引き続き、総合計画の基本目標並びに施策に沿って主なものについて、ご説明申し上げます。

はじめに、「安心して子どもを育み、学び、笑顔あふれるまち」についてです。

子どもの成長と子育て支援体制の充実については、

「滝川市こども計画」の実現に向けてこども家庭センターを設置し、妊娠期から出生、子育て期まで切れ目のない伴走型支援を行うため、

こども家庭センター設置事業費 127万円

こどもの健康管理と産後の経済的負担の軽減を図るため、

1か月児健診費用助成事業費 108万円

一の坂地域子育て支援センターを滝川ふれ愛の里に移転し、こどもの一時預り機能の追加や母親の居心地の良いスペースを整備するため、

母親のためのレスパイトケア事業費 462万円

地域おこし協力隊員を採用し、「こどもの居場所」や「母親・父親の居場所」など、子育て世代が望む居心地の良い居場所を構築するため、

子育て居場所づくり事業費 758万円

国が従来行ってきた出産・子育て応援給付金給付事業の見直しにより、令和7年度からの開始を予定している「妊婦のための支援給付」と「妊婦等包括相談支援事業」を一体的に実施し、すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできる環境整備を図るため、

妊婦のための支援給付・妊婦等包括相談支援事業費 1,726万円

滝川中央保育所で導入済みの保育ICTシステムが、保護者の利便性向上や保育士の負担軽減により保育の充実が認められたことから、滝川市社会福祉事業団が運営する保育所へ導入の支援を行うため、

保育ICTシステム導入補助事業費 330万円

花月地区児童センターの運営を民間事業者へ委託し、児童館や学童クラブの安定運営に向けた効果を検証するほか、利用児童数の増加により手狭となっていた東地区放課後児童クラブの2階利用の開始、学童クラブにおける保護者との連携強化を目指したICTシステムの導入などの環境整備を行うため、

児童館、学童クラブの民間委託化事業費 1,500万円

東地区放課後児童クラブ2階利用に係る開設事業費 116万円

児童館等空調設備設置工事費 406万円

学童クラブICTシステム導入事業費 405万円

妊娠期や産後の女性の骨疾患の軽減及び骨粗しょう症予防を目的として、

骨骨骨活！女性の骨検診の費用助成事業費 6万円

こどもたちの健やかな成長と更なる健康の保持・増進を図るため、

子ども医療費助成事業費 1億9,142万円

食材費上昇分を公費負担し、学校給食費の保護者負担額を据え置くため、

学校給食の食材費高騰対策事業費 2,176万円

子育て世帯などの住宅取得に伴う費用を支援することで定住を促進するとともに、地域経済の活性化を図るため、

住宅新築・改修促進事業費 2,811万円

産後健診費用の助成による経済的支援を行うほか、心身のケアや育児のサポートなどの産後ケア事業項目の増加によるきめ細やかで切れ目のない支援を行うため、

産後ケア・産婦健康診査事業費 181万円

妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産できる環境を確保するため、

妊婦健康診査支援事業費 1,600万円

結婚から妊娠、出産、育児・子育てまで、切れ目のない支援を推進するため、

結婚活動支援事業費 52万円 を計上しました。

学校教育の充実については、

生徒の健康と教育環境を守るため、

滝川西高等学校空調設備設置工事費 1億6,771万円

生徒の学習環境改善と脱炭素化に向けた取り組みを推進するため、

滝川西高等学校照明LED化改修工事費 7,220万円

令和6年度に策定した基本構想に基づき、滝川第一小学校の建替えに向けた基本計画の策定に着手するため、

新小学校基本計画策定事業費 997万円

小・中学校の不登校児童生徒に対して、「居場所」「コミュニケーションの機会」「学習できる環境」を提供するため、

不登校児童生徒支援メタバース事業費 51万円

小・中学校の校内ネットワーク通信環境の改善に取り組むとともに、GIGAスクール構想において整備した児童生徒用端末を更新するため、

GIGAスクールネットワーク環境改善・端末更新事業費 4,104万円

中学校の部活動の円滑な地域移行に向けて、拠点校方式による合同部活動を実施する学校に部活動指導員の配置を予定するとともに、休日部活動に協力いただく外部指導者に対して謝礼金を支出するため、

部活動の地域移行事業費 60万円

自校調理方式である江部乙小学校の給食提供体制を、西小学校共同調理場を親とした親子方式へ変更するため、

学校給食提供体制整備事業費 309万円

修学機会の拡大と滝川市内への就職を促進するほか、開学50周年を見据えた更なる連携強化を図るため、

國學院大學北海道短期大学部連携事業補助金 320万円

國學院大學北海道短期大学部修学応援補助金 1,155万円

國學院大學北海道短期大学部プロモーション強化事業費 400万円

國學院大學北海道短期大学部将来に向けた

まちづくりへの波及効果等調査分析事業費 813万円 を計上しました。

生涯学習・文化芸術・スポーツ環境づくりについては、

令和8年度のオープンに向けて、施設の建設工事に着手するとともに、民間企業などと連携して先進的なプログラム開発の検討を進めるため、

新しい海洋センター整備事業費 8億4,451万円

未来を担うたきかわのこどもたちに生きる力を育むための学習機会を提供するため、

たきかわっ子ワクワクまなびプログラム事業費 1,000万円
地域おこし協力隊員を採用し、市内の文化芸術活動の活性化を目指すため、
文化・芸術活動コーディネーター採用事業費 669万円
滝の川市民プール「水夢」の廃止に伴い、市内小学校全児童が代替施設であるスコーレ滝川の
プールを無償で利用できるよう、
滝の川市民プール「水夢」廃止・スコーレ滝川活用事業費 50万円
災害時の撤去及び復旧作業をより即応的に実施できる管理棟及びトイレに更新するため、
パークゴルフ管理棟等購入事業費 935万円 を計上しました。

次に、「健康で、優しく、安全に暮らせるまち」についてです。

保健・医療環境の充実については、

令和7年4月から带状疱疹ワクチンが定期接種化されることに伴い、接種対象者の接種費用の
半額を公費負担するため、
带状疱疹ワクチン定期接種化事業費 1,827万円
がんに関する正しい健康意識の普及啓発を図るとともに、検診の受診促進を図るため、
乳がん検診無料クーポン配布事業費 54万円
認知症予防を兼ねた脳ドック費用の一部を助成するため、
脳ドック費用助成事業費 294万円 を計上しました。

地域福祉・自立支援体制の充実については、

介護人材の育成と確保を推進するため、
介護職員の資格取得費用支援事業費 60万円 を計上しました。

市民生活の安全確保については、

119番通報の受付から各種災害対応完了までの消防業務について一括して情報処理などを行
う「高機能指令台システム」及び現場活動時の連絡を行う「消防救急デジタル無線設備」を更
新するため、
高機能指令台システム等更新事業負担金 3億273万円
災害時に自ら避難することが困難な支援対象者の名簿情報を管理するシステムを更新するた
め、
避難行動要支援者システム更新事業費 194万円
ヒグマ対策体制を強化するとともに、ハンターの担い手不足を解消するため、
ヒグマ対策事業費 173万円
街路灯の長寿命化及び経費の節減を推進するため、
街路灯工事費補助金 816万円 を計上しました。

コミュニティ活動の支援については、

多文化共生社会の理解促進活動や外国人在住者の生活支援を行うため、
外国青年招致事業費 1,445万円 を計上しました。

環境への配慮については、

自然環境や社会情勢の変化を踏まえ、長期的な視点から総合的かつ計画的に環境施策を推進するため、

滝川市環境基本計画・地域行動計画策定事業費 83万円 を計上しました。

次に、「元気で魅力ある産業と、人が集うまち」についてです。

農業の振興については、

丸加山周辺一帯の林道環境整備を実施するため、

林業用作業機械購入事業費 500万円

地域おこし協力隊員による農業の第三者経営継承を推進し、将来の担い手確保に繋げるため、

新規就農支援対策事業費 1,100万円

農地・水路・農道などの地域資源の適切な保全管理を行う地域組織の活動を支援するため、

多面的機能支払交付金 1億4,192万円 を計上しました。

力強い産業の創出については、

市内の事業所に就職する若者の経済的負担の軽減や、事業所における人材確保・離職防止を図り、市内の定住に繋げるため、

奨学金返済支援事業費 60万円

成長発展が期待される航空宇宙関連産業の集積を図るため、

成長産業集積促進助成事業費 300万円

地域おこし協力隊員が取り組む滝川クラフトビールの醸造技術習得や普及拡大活動を支援し、認知度の向上とブランド化を図るため、

滝川クラフトビール普及拡大事業費 549万円 を計上しました。

豊かな資源をいかした外客誘致・交流人口の拡大については、

滝川ふれ愛の里の安定的な運営を行うため、

滝川ふれ愛の里管理運営事業費 6,729万円

新たな交流・関係人口を創出するため、

グライダーを活用した交流・関係人口創出事業費 460万円

情報発信効果の高いメディアなどを活用したPRを継続し、交流人口の増加をより市内経済へ波及させるため、

観光情報PR事業費 324万円

地域の優れた観光資源を活かした魅力的なイベントなどの企画・運営の担い手を育成するため地域おこし協力隊員の活動を支援し、交流人口の拡大や地域ブランドの向上に取り組むため、

観光人材育成事業費 550万円

イベントなどの観光事業を推進し、観光客数の増加を図るため、

たきかわ観光協会補助金 1,045万円 を計上しました。

次に、「都市と農村が調和し、便利で、快適なまち」についてです。

コンパクトな都市形成については、

「滝川市都市計画マスタープラン」に基づき、持続可能なまちづくりを進めるため、

都市計画（用途地域等）の見直し 644万円

滝川市都市交通マスタープラン改定事業費 691万円

子育て世帯などのライフスタイルに対応した住環境の整備や支援など、総合的な住宅施策を展開するため「滝川市住生活基本計画」の改定に着手するほか、市営住宅などの今後のマネジメント方針を定めた「滝川市公営住宅等長寿命化計画」の改定に着手するため、

滝川市住生活基本計画・

滝川市公営住宅等長寿命化計画改定事業費 930万円 を計上しました。

地域公共交通の維持については、

滝川市内線を、事業者協力型自家用有償旅客運送として市が主体となり民間事業者に委託し運行するため、

滝川市内線運行事業費 3,637万円 を計上しました。

公共施設・インフラの適正管理については、

市内経済の状況を考慮し、地域経済への波及効果の高い公共事業を実施するため、

普通建設事業費 25億7,108万円

生活道路における未改良路線などの舗装補修に集中的に取り組み、道路交通の安全確保に努めるため、

生活道路舗装補修事業費 3,800万円

冬期の気温上昇により道路の舗装内に水が浸入し、凍結融解が繰り返されることによって生じる凍上被害の対策として、道路の舗装修繕工事の充実・強化を図るため、

凍上被害補修事業費 1億5,000万円

近年相次ぐ異常気象による河川氾濫を未然に防ぐため、

緊急浚渫推進事業費 1,500万円

冬期の安全・安心な道路交通網の確保に必要な小型ロータリ除雪車2台を更新するため、

除雪機械整備事業費 6,247万円

維持管理経費の縮減及び環境負荷の軽減を図るため、

道路照明LED化事業費 6,600万円 を計上しました。

住環境の整備については、

令和6年度に実施した空家等実態調査に基づき、所有者などに対して管理や活用に関する調査を行うため、

空家等所有者等意向調査事業費 32万円

子育て世帯などの住宅取得に伴う費用を支援することで定住を促進するとともに、地域経済の活性化を図るため、

（再掲）住宅新築・改修促進事業費 2,811万円 を計上しました。

次に、「効率的な行財政運営によるまちづくり」についてです。

財政健全化の推進については、

本市の財政運営の最重要事項と位置付けている滝川市立病院の健全経営に向けて、「滝川市立病院経営強化プラン」に基づく取り組みを強化するため、

滝川市立病院経営強化プラン実施支援事業費 2, 068万円 を計上しました。

自治体DXの推進については、

行政サービスの更なる向上と市役所における業務の効率化を目指し、

自治体DX推進事業費 1, 457万円

システム標準化事業費 2億8, 969万円

内部事務統合システム導入事業費 2, 588万円 を計上しました。

市史編さん事業については、

既刊の市史の電子化及び新たな市史の製作を進めるため、

市史編さん事業費 554万円 を計上しました。

普通財産建物点検等委託事業については、

老朽化した普通財産建物を安全に管理するため、

普通財産建物点検等委託事業費 667万円 を計上しました。

公共施設改修事業については、

「滝川市公共施設個別施設計画前期計画」に基づき、持続可能な公共施設運営を行うため、

公共施設改修事業費 1億1, 336万円 を計上しました。

第三セクターの経営健全化については、

第三セクターの経営改善を促進するとともに、安定的な経営を支援するため、

滝川振興公社貸付金 5億9, 900万円 を計上しました。

次に、これらに見合う令和7年度一般会計歳入の主なものについてです。

市税について、令和6年度の実績見込み及び令和7年度の地方財政計画を勘案し、法人市民税、固定資産税、軽自動車税及び都市計画税については対前年度当初予算比増額を、市たばこ税については減額を見込みました。

また、個人市民税については、定額減税が一部の方を除きおおむね終了することから大幅に増額を見込みました。

収納率については、現年度分99. 1%、滞納繰越分6. 6%、合わせて90. 4%を確保する予算としたところ、市税全体では、

対前年2億2, 830万円増の 44億268万円

地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせて、
対前年１億７，１０１万円増の ７４億９，４７３万円

ふるさと納税による寄付金については、令和６年度実績見込みを踏まえて、
対前年１０億円増の １５億円

その他の歳入としまして、

国庫支出金	３６億６，３０２万円
道支出金	１３億７，６５９万円
市債	１１億２，３５０万円 を計上しました。

基金繰入金については、対前年１０億９，８２３万円増の１４億７，５２８万円を計上しております。

以上、令和７年度の各会計予算案の大綱について、申し上げました。

厳しい財政運営の中にありますが、予算計上に当たっては、将来にわたり市民の皆様が安心して暮らせるまちの実現に向けた取り組みに十分配慮したところです。

市民の皆様、市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、慎重なるご審議と適切なご決定をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。